

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 30 日作成)

| | | |
|---------------------|---|------------|
| 委員会名 | 火災性状小委員会 | 主 査 名：佐藤博臣 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 防火本委員会 | 委員長名：長谷見雄二 |
| 設 置 期 間 | 2001 年 4 月 ~ 2005 年 03 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 | <p>火災安全計画に有用な研究情報の整備を行って、火災性状研究の到達点の再確認と将来的研究課題を明確化する。</p> <p>2001～2002 年度：火災性状全般に関する研究情報の収集</p> <p>2003 年度：2002 年度までの成果の整理と分野別の研究戦略の検討</p> <p>2004 年度：分野別研究戦略の検討と同報告書の取りまとめ</p> | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | 佐藤博臣(主査：鹿島技術研究所) 鍵屋浩司(幹事：国土技術政策総合研究所) 大宮喜文(東京理科大学) 仲谷一郎(建材試験センター) 鈴木健(消防研究所) 吉田公一(海上技術安全研究所) 高橋済(アイエヌジー) 森田昌宏(東京理科大) 長谷見雄二(早稲田大学) 能美隆(能美防災) 長岡勉(竹中工務店) 鈴木圭一(清水建設) 水野智之(TOM防災研究室) 阿部敏彦(サンユ); 以上14名 | |
| 設置WG (WG名：目的) | <p>火災性状データベースWG：今後の社会変化に対応した火災安全設計や要素技術開発、火災研究、火災リスク評価、法規等の作成に資するべく、火災事例や火災性状、火災統計、火災安全要素技術、法規など火災関連情報の整備・分析・活用に有効なデータベースの設計・構築・提案を行う。</p> <p>火災モデルWG：建築基準法の性能規定化、並びに消防法の性能規定化に対応すべく、建築物の火災性状を工学的な観点から定量的に予測する既往の火災モデルを調査・集積し、そのモデルの特徴や課題などを分析・整理するとともに、必要に応じて新たな火災モデルを構築・提案する。(2003 年度より局所火災に対する耐火設計WGと合同で活動中)</p> | |
| 2003 年度予算 | 円 | |

| 項 目 | 自己評価 |
|-----------------------|---|
| 委員会活動状況 (開催日・参加人数) | 2003 年 6 月 11 日(水) 8 人 2003 年 8 月 29 日(金) 5 人 2003 年 9 月 26 日(金) 7 人 2004 年 3 月 25 日(木) 7 人 |
| 得られた成果 | (成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 火災性状データベースWG ：多岐にわたる研究情報の効果的な整理のために、過去の特徴的な火災事例の分析等をふまえ、火災安全計画に必要な火災性状に関連するデータベースのプロトタイプ構築・実用化のための課題を検討・整理した。 火災モデルWG ：建築基準法の性能規定化の動向を踏まえ既往の火災性状モデルの整理、さらに新たな建築物の火災安全設計ツールの検討を実施した。 |
| 目標の達成度 | (当初の活動計画と得られた成果との関係) 設置WGの活動目標は概ね達成した。ただし研究計画、分野別の研究戦略の検討が課題として残されており、火災性状研究の到達点の再確認と将来的研究課題の明確化という設置目的を効率的・効果的に達成するために、今後は両WGの成果を小委員会で総合的に検討して、最終成果をとりまとめたい。 |
| その他評価すべき事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2003 年度大会オーガナイズドセッション「火災安全設計に必要なデータベース」を開催し、今後の火災性状研究の課題の明確化や火災安全設計に資するデータベースの実態及び実用化の課題について、幅広く意見交換を行った。 ・ 火災安全設計小委員会局所火災に対する耐火設計WGと合同で、収納可燃物調査及び収納可燃物等の発熱速度データベースの構築を行った。成果は 2003 年度関東支部研究発表会で報告された。 |